

# 学志館

## 12の気づき

やってはいけない12の気づきを「12鬼月」として、学志館では学習姿勢指導しています。心が整っていると、学習効果が大きく現れます。

一方、いくら勉強していても、心がともなっていないと「時間をかけた割に効果が薄い」という状態になります。させられているのが「勉強」、未来のために自ら一歩前に進むのが「学び」です。

12のやってはいけないダメ姿勢を正し、学びを志してくださいね。

※やることを決めるのも大切ですが、実は「やらないこと」を決めたり、「やってはいけない事を意識する」事の方が結果が出やすいと言われています。

# 12鬼月を倒せ～下弦の6



これができないと、「自分を信じて挑戦する」ということができなくなります。

## ネガティブワード（否定語）を使う

### 他人に迷惑となる行為（こうい）の禁止

簡単な事は、やる意味がないと言い、覚えることは、面倒くさいや家でやると言い（やっていない）、難しい問題は、「こんな無理」や「教えてくれないからできない」と文句ばかり言っている。

じゃあ、何だったらするの？「無理」「え～（やりたくない）」「面倒くさい」などのネガティブワード禁止です。できなくても責めないし、先生たちがサポートするから、まずは、「はい！頑張ってみます」と言えるようになろうよ。**何かに挑戦する時、まずは自分自身が自分を信じてあげる事。**「無理、え～（やりたくない）、面倒くさい」と思っている（言っている）のに、結果を出すのは、そもそも難しいです。自分を信じる事。それは、（できないかもしれないという恐怖と戦いながらも）「やってみます」と宣言する事から始まります。

#### ・否定と足の引っ張り合いばかりしている（他人の迷惑になる行為禁止）

自分よりもできていない人を「こんなのもできないの？」とバカにしたり、「こんな簡単やし」とできない人に嫌味を言ったり、ため息をつく。。。できない人や年下の人をバカにするのをやめようか。次に、自分よりもできている人を目標とし、自らが頑張るのではなく、ライバルの足を引っ張ったりいじめたり、意地悪をする。。。そんな人間になってはいけない。他人を引き下ろすのではなく、自らが一步前に進もうよ。先生がホワイトボードに何か書いている時に、こそこそ話したり、なにか投げたり。自習室で「教えてあげていたんです（それは先生の仕事）」「わからない所を聞いていたんです（それを聞くのは友達ではなく先生)」。過去、それを「迷惑だからやめてくれるかな」と言うと、「教えてあげた（質問した）友達は迷惑だと思っていないと言ってます」と言った子がいましたが、自分たちは良くても周りの他の子に迷惑が掛かっているんだ。他人の学びを邪魔する行動は絶対に禁止です。

学志館では使わないワード（矢印右の言葉を使おう）

- ・「無理」→「(不安だけど) やってみます」
- ・「面倒くさい」→「(面倒くさいけど) やってみます」

その他、学志館の先生から、「その言葉は使わないようにしようね」と言われた言葉は、口に出たとたん、君も、周りの人も「できなくなる」ネガティブワードだよ。気をつけようね。

## 学志館にいる間、ネガティブワードを口にしたらダメ

学年：

生徒名：

# 12 鬼月を倒せ～下弦の5



これできないと、あなたの  
本当の良さが相手に伝わり  
ません。

正しい姿勢が保てない。

字が雑。

トイレに何度も行く。帰ってこない。

ダラーッと寝ているような姿勢を「寝たらだめだよ」と先生から注意され、「寝てません！」という前に、寝ているように見える姿勢の悪さがダメなんだよ（学校での授業態度を含む内申点の評価は先生が決めます。それは、自分ではなく他者＝先生からどう見えるのか？という視点を自分が持っているのかどうか？という事になります）。足を組んでいたり、貧乏ゆすりしたり、斜めを向いたり座っていたり、ほおづえついて寝ているように見えないようにしようね。

・そんなことが勉強に関係あるんですか？

「人を見た目で判断するな」と言いますね。本当にその通りで、外見と中身は別問題です。しかし、同時に「その人ことを、好きか嫌い、信頼できるかできないかを人は、3秒以内に判断している」とも言われます。そう、3秒で内面はわかりません。『何となく、この人は落ち着いていて信頼できそうだ』など、良い悪いはおいておいて、その人の雰囲気は、瞬時に伝わるものなのです。

・字はきれいであった方が良いですが、きれいでなくてもいいです。ただ、「整った字を書こうとしている」「努力している」字を書きましょう（キャラ字禁止）。

『適当でいいと、この人は思っている＝信頼できない人』と思われるような、読めない字は書かないと心に決めましょう。7が9に見える。0か6かわからないなど、雑に書くクセが習慣化されているとミスが多くなります。

・「トイレに行くな！」とは言えません。

それをいいことに、何度も「トイレ行っていいですか？」となる子がいます。そして、休憩時間は遊んでいてトイレに行っていないかったりします。塾は勉強するところ。それで未来が変わると思えていないので、「勉強から逃げている」となっていないませんか？

**姿勢よく、丁寧に書けていないとダメ**

学年：

生徒名：

# 12鬼月を倒せ～下弦の4



これが守れないと、友達がいなくなります。

5大悪。これをするのは、絶対禁止。

1. いじめ
2. カンニング
3. 人の物を盗る、壊す、隠す。
4. お金を友達から借りる（塾が貸します。相談してください）
5. 笑えないいたずらをする。

## 1.いじめ

いじめをする人は、「弱い人をいじめる人」か「自分とほぼ同じ位置にいる人をけ落とそうとする人」か「自分よりも恵まれている人の足を引っ張ろうとする人」です。村山は、気に入らない。友人の嫌な所ががまんできないのなら「ここが気に入らない」と面と向かって言い合ってぶつかり合うべきだと思います（村山が間に入ります。相談してください）。過去原因究明をしようとする「先にあっちがやってきた」「いや、お前がその前に」と確認が取れなくなります。そのため、ルールは「問題が発生したその時に悪い事をしたものが厳しく指導される」としておられます。

## 2.カンニング

カンニングをし始めた時から、見つかるまでの3倍の期間、学力が下がり続けます。やめてください。

## 3.人の物を盗る、壊す、隠す

お友達の物はもちろん、塾の物を持ち帰ったり、壁や机に傷をつけるなど問題を起こす人になってはいけません。

## 4.お金を友達から借りる

最後には友達をなくします。飲み物や食事を買うお金がない場合は、友達ではなく、塾から借りるようにして下さい。

## 5.笑えないいたずらをする

「階段で前の人を押す」「座ろうとしている人のイスを引く」「校舎の3階から物を投げる」など大問題となります。

**「人間として、してはいけないこと」をしてはダメ**

学年：

生徒名：

# 12鬼月を倒せ～下弦の3



これできないと、「わからない」となった時に、ノートを見返して理解するという事（自学）ができなくなります。

## 忘れ物が多い・ぼーっとしている

忘れ物をしないようにしましょう。「筆記用具」や「先生から言われた準備物」「テキストやノート」は最低限必ず準備しましょう。学志館では、1冊の「5感動ノート」を持つことをお勧めしています。B5サイズの26穴バインダーです。重要な公式を差し替えることができるよう、ルーズリーフを使用するようにしましょう。できなかった事、忘れてはいけない重要な事（でも、何度も間違っている事）を5感動ノートに書く習慣ができ、そのできなかった事を寝る前にもう一度確認するようになれば、君の未来は変わり始めます。（そして、できるようにしたことも同時に確認し、自分は「今日、できなかった事を、こんなにもできるようにした」と自分を誉めてあげてください）

・成功するか失敗するかは「準備が9割」と言われます。

学習の準備は、①十分な睡眠と健康であること②学習環境を整える（部屋や机の上の整理整頓）③学習のための物（教科書・問題集・ノート・筆記用具など）の準備④させられている勉強を嫌々するのではなく、同じやるのならば「自分の未来を変える学びを志す」と心に決めること⑤いつまでに何をするのか予定（時間）を決めることです。

ただ言われているから勉強する。

やらなきゃいけないから宿題をする。

そんな、適当に、何となく、させられている作業で結果が出るとは思わない方が良くないかな。ライバルはもっと、真剣に学んでいるよ。君も必ずできます。学志館の先生たちがついていきます。学習で困った事があったら、相談してくださいね。

・先生が目を離すと、ぼーっとしたり、指遊びが始まる。

村山は、「一点見つめ病か?」「指の先見つめ中学（高校）へ進学するのか?」「ぼーっとして未来が変わるのか」など、かなり厳しく指導します。お許しください。さぼっていて、未来が変わる事はありません。できなくてもいいので、頑張ろう。「さぼった方が楽」を覚えると努力しなくなる。せめて学志館にいる間ぐらいは頑張ろう。時計ばかり見ている生徒、「後〇分で授業終わる」「休憩までのカウントダウンを始める」のも、ダメ人間だ。（授業のチャイムが鳴る前に、片付け始める子も注意を受けます）

## 忘れ物をしたらダメ

学年：

生徒名：

# 12 鬼月を倒せ～下弦の2



これができないと、「信頼を失います」、そして、最終的に居場所がなくなります。

## 遅刻する。欠席が多い。期日を守らない。

体調がすぐれない時や、精神的にまいっていてどうしようもない時は休もう。そして元気を取りもどして、また頑張ればいいよ。でもね、大人になっても「遅刻する人・休む人・期日を守らない人」の居場所はなくなります。そして、人間だから、失敗する時もあるよね。できない時もあると思います。そんな時に、明るく前向きに「次は、こんなことにならないよう、〇〇します。改善します。頑張ります！」でいいです（先生たちが支え導いていきます）。たった数分の小さな遅刻ですが、小さな約束が守れない人は、大きな信用を失います。できなくてもいいから、「できるようになろうと努力してください」それが、人としての心の持ちようです。

・学びを結果に変えることが苦手な子の多くが、「遅刻・欠席が多い」という事実。

最初の説明がきけていない、最初はテストだから「少し遅れても大丈夫」と考えている人と、その時間を大切に頑張っている人のどちらが結果を出すのかは明らかです。1日休めば、その分を自力で学習する負荷は1.5倍～2倍以上かかります。

・期日に間に合わない。

「時間がないという言葉は、結果を出さない人間の言い訳だ」という言葉があります。

課題内容や期日が厳しすぎるなど、課題を出した先生側に問題があるかもしれませんね。しかし、大抵の場合、「やっていない」だけです。やらずにできるようになるわけがありません。頑張りましょう。そして、精いっぱいやってもできないのであれば、形だけ答えをうつすのではなく、「できるようにする努力」が見える学びを続けてくださいね。結果に変え切らない人は、いつも形だけやった風にしてごまかします。学びと向き合いましょう。

・授業のチャイムが鳴っていても教室に入らない。

チャイムが鳴る前に座席について、次の授業の準備や学習が始められるようになれば、未来が変わると思います。村山は、「チャイムを鳴らすのも恥」だと思っています。海外では、ベルもならず、時間になったら列車は勝手に出発します。時間管理は学習姿勢の基本だと言えます。

## 遅刻・欠席をしたらダメ

学年：

生徒名：

# 12鬼月を倒せ～下弦の1



これできないと、「そもそも頑張れません」。健康であることが、学びの第一歩です。

## 規則正しい生活と十分な睡眠がとれていない。

寝てしまったり、ぼーっとして時間を無駄にしているから君の未来は変わらないのです。眠たくてどうしようもないのであれば、15分～20分ほど仮眠をとって、その後、集中した方が良いです（20分以上寝ると、だるさやぼーっとすることが多くなり逆効果です。そして寝た分の20分は、追加で学志館が指導します）。まずは、授業時間を一瞬入魂（その時の精一杯の努力）することを習慣化しましょう。

- ・睡眠時間は、自分に合った適正な時間があります。

クラブや、学校の授業で疲れていたら、20分程度の仮眠をとって、学志館へ来るようにしてください。（授業には遅れないように時間調整しましょう。無理な場合は、相談してね）

- ・夜型の生活は「百害あって一利なし」です。

高校生で、テスト直前で1日、2日だけ。。。というのであれば、わからなくもないですが、学校は朝から始まります。

- ・体育や図工など、座学ではない学習も含まれますが、1日7時間程度学校で過ごしています。そこでの授業を集中しておらず、塾での数時間でなんとかなると思いますか？

学志館では、寝ていたら注意されますし、その分学習するように指導されます。しかし、学校はどうでしょうか？他人に迷惑をかけない限り、放置され、そのまま眠っていても注意されない。。。そんな状態を『ラッキー』と思っているようでは、君の未来は変わりません。寝てて未来が変わるのか？学志館で未来を変える挑戦を楽しめるようになりましょう。

## 授業中、寝たり、ぼーっとしたらダメ

学年：

生徒名：

# 12鬼月を倒せ～上弦の6



これできないと、「今のま  
ま」で成長が見られません。  
そして、困難が目の前に現れ  
ると、すぐに逃げるようにな  
ります

楽で、既にできている、誰にでもできる楽しいこと、自分のしたい事、好きな事だけをしている。

難しい（でも意味のある事）、できない事（でもできたら素晴らしいこと）、やりたくない事（でもやるべき意味のある事）に挑戦できるようになろう。大人になっても、夢を叶えるためには、やりたくないと思う事を頑張らないといけない時期があります。そして、学校も同じで、好きな科目だけを勉強するということではできません。「嫌だ」と逃げていないで挑戦を楽しめるようになりましょう。そして楽しいこと、楽な事は誰にでもできます。だからこそ、「できない難しいこと」に挑戦する心を養いましょう。

「簡単に手に入るものは、誰でも手に入れることができる簡単なものだし、簡単に手に入るものは簡単に失う」んだよ。

・そもそも学びを志すことで、自分の未来が「良くなる」と思っている？

自分が学びを志しているか、すぐにわかる質問があります。

「勉強ができるようになって来たら、しんどくなると思う？楽しくなると思う？」

と自らに問うてください。そこで、どんどん学習が進むと「しんどくなるかも」と少しでも考えているようでは、君の学びが結果に変わることは難しいです。クラブもそうでしょうか？できるようになると楽しいですし、難しいことに苦もなく挑戦できるようになります。

まずは、「できるようになりたい！」と宣言してみましよう。

**授業中、(今までできなかった) 難しいことに挑戦しないとダメ**

学年：

生徒名：

# 12鬼月を倒せ～上弦の5



これができないと、「形だけできたこと」になって、結果が出ません。

できない事から逃げる、隠す、嘘をついてごまかす弱い心。そして逆に、できないことを自ら責め続け前に進めなくなるという、まじめすぎる弱い心。

学びを結果に変える極意は、「正しい努力を、人よりも長くたくさん行う」事です。

そのためには、できていない自分から逃げて・隠して・嘘をついてはいけません。また、できないことに心がとらわれて、前に進めなくなるのも成長を妨げます。失敗してもいいから、その失敗から学ぶ事。それは、ただ宿題を仕上げればいいのかという事ではないし、ただ書けばいいという事ではありません。「どうすれば、できるようになるんだ」「なぜ、できなかったんだ」と考え、改善し、一歩前に進むことを習慣化しましょう。

- ① 初めて学習する内容はノートにする。前を見て調べて答えを書いたり、先生に質問 OK。とにかく早く「1回目の学習を終える」ことです。
- ② 復習内容（2回目の学習）はテスト形式で直接書き込み。（時間がなくなってきたテスト直前期もテスト形式で直接書き込みです）  
「前を見て調べてうっさない」「質問しない」「解答を見ない」で仕上げ、丸付けしましょう。ここをごまかさないこと。
- ③ 間違った問題の答えや解法を「ピンクかオレンジのペン」で書き込む（暗記物）か、思考型の問題は答えだけを書くのではなく、先生に教えてもらったり、解答解説から「どうすればできるようになるのか」を書き込むこと→赤下敷きをかぶせると答えが消えてやり直しができます。

正しい〇付けとやり直しができていない  
とダメ

学年：

生徒名：

# 12鬼月を倒せ～上弦の4



これができないと、「難しい問題に時間を費やし、後ろが真っ白け」という状態になります。

## 順番を守らない

物事には「大切な順番」があります。結果を出す人は、大切な順番をすっ飛ばすようなことはしません。そして、お調子者はいつも、サッカーでいえば、見栄えのいいオーバーヘッドでゴールを決める練習をし、真の実力者は地道な走り込みや、正確にボールをけることができるように練習しています。偏差値60（上位16%程度）になるまでは、質の話は一端置いておこうか。その前段階の量をいかにこなすか、そのためのスピードをいかにつけるかにこだわろう。偏差値が60を超えてきたら質にこだわろう。そして偏差値が65を超えてきたら「この程度で良い。」ではなく完璧・完全を目指し、偏差値72以上=100人に1人のオンリーワンを目指してみましよう。100人に1人=1%の能力が5つ集まると、 $1/100 \times 1/100$ が5つ集まって、 $1/1000000000000 = 100$ 億分の1の正に世界で一人のオンリーワンになれるんだよ。

・結果の出やすい学習の順番は、「心→速→量→質→完」です。

心（学びを志し、学ぶ事で自らの未来が良くなると信じて努力ができる心）がなければ、学びではなく嫌々させられている勉強となります。速（短く、狭い範囲でも良いので速さ）がなければ、「宿題が終わらない」「書くのが遅い」から始まって、実は「難しい問題に挑戦できない」のも、基礎・標準問題を速く仕上げるのができないからです。量（質を手に入れるには、ある一定の量をこなさなければなりませんし、そのためには速が必要となります）は、天才ではない者が、唯一天才に追いつくことができる才能です。質（簡単な問題、できる事だけをやっているようでは、上位には到達できない）が重要なのは言うまでもありません。そして、そこそこの秀才君、秀才さん（偏差値60～65程度）がおちいりやすいのが、『これぐらいで良いか。。。』と考える心です。是非、完全・完璧を目指してみませんか？学志館で、偏差値70以上を達成（最高は78.5です）し、大阪星光や四天王寺、洛星や洛南、東日本一！と言われている開成、公立高校でいうと四條畷高校や大手前高校に合格した先輩がたくさんいます。「無理」ではなく、君たちにはまだ時間（期間）があります。今は無理でも、だからといって、「将来もずっと無理」かどうかはわかりません。過去は変えられません。1年後、3年後、5年後、10年後のために、今、決めましよう。そして変わらましよう。

## 学習の正しい順番が守れていないとダメ

学年：	生徒名：	
-----	------	--

# 12 鬼月を倒せ～上弦の3



これできないと、「教えてもらわないとできない」「わからないからできない」と言っている、実は暗記物ができていないなどという問題が発生します。

## 今、自分にできる努力をしていない

できない事をやろうとか、解けないような難問を解けと言っているのではありません。それは塾の授業や（無料の質問会）第5教室で教えていくし、今はできなくても良いです。でもね、覚えたらいいこと、答えを見たらわかることレベルの自分にできる事を、先生が教えに来てくれるまでの間できるようにすると、学びを結果に変えることができるようになります。時間を無駄にしないでね。そして、できない事をなげいていないで（先生たちも順番に教えに回るね）、自分にできる努力を精一杯することだよ。

- ・先生が目を離すとぼーっとしたり、指遊びが始まるとダメ。
- ・トイレに何度もたって、帰ってこない（トイレが何回も長い子は、勉強ができないといわれています）
- ・鉛筆をけずりに行ってなかなか帰ってこなかったり。自習の時間に2階で漫画を読んでいたりと。

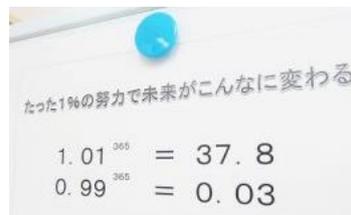
学志館にいる間は。「学びを志そうよ」。君の未来を、人生を変える可能性が最も高いのが学びだよ。

- ・毎日1%頑張った人と、1%サボった人の差は、1年後1260倍の差に広がる。

1日1% (1.01) の努力を365日続けると、元の37.8倍になるそうです。

逆に1日1% (0.99) のサボりを365日続けると元の0.03倍だそうです。

たった1%です。きっと、毎日の中では、「何が違うのかわからない」ぐらいの小さな努力、さぼり、差なんだと思います。そして1%は1日24時間でいうと14.4分、約15分です。たった15分です。昨日の自分を越える、限界突破に挑戦してみましよう。それは、何となく昨日と同じ今日を生きるのではなく、「昨日とは違う努力を今日頑張る！」と決めることから始まります。



できない事をやれなんて言っていない。

できることを、やっていないとダメ

学年：

生徒名：

# 12鬼月を倒せ～上弦の2

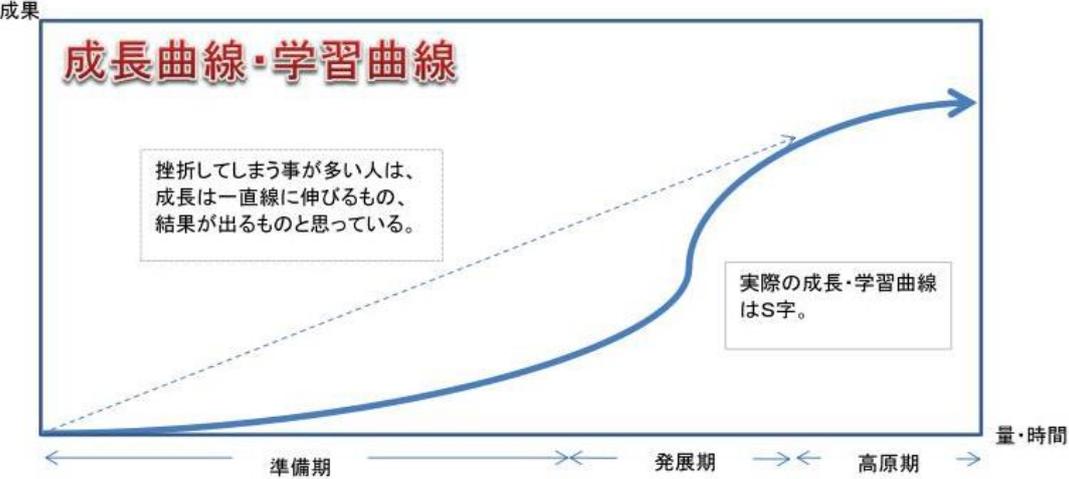


これができないと、中途半端に投げ出すことが習慣になってしまいます。失敗は、成功への第一歩なのです。改善を加え、結果に結びつけましょう。

## ちょっとやっただけで、すぐ諦める

すぐに諦めてしまう人に多い「(自分はこんなに頑張った。なのに) 結果が出ないから、やってもムダ」という思考を変えましょう。

簡単に手に入るものは、簡単に失うものです。そして、下記の学習曲線のグラフを見てください。これは、成長曲線ともいわれるグラフですが、人の成長(学習の成長)は、一方向に直線で伸びるのではなく、S字型に伸びると証明されています。



村山は、理解にかかった時間の3倍～5倍の練習が最低でも必要だと思っています。理解するための講義を40分受けたのであれば、その内容を「自分の力だけでできるようにする」のに120分～200分はかけないと、(仮にできたとしても)遅くて使いものにならないか、すぐに『あれ? どうやるんだっけ?』になるということです。それは、授業での演習+家庭学習(無理なら第5に来るんだよ)が重要だという事です。

## あきらめて、投げ出したらダメ

学年 :                      生徒名 :

# 12鬼月を倒せ～上弦の1



これができないと、「成長しない」人間になります。君が立ち止まっても、世の中は日々進歩していきます。止まるな。前に進め。

## 今のままで良いと思っている（現状維持＝衰退）

受験生と話をしているとたまに（入試まで何か月もあるのに）「今の学力で行ける学校でいいです」という生徒が現れます。今まで頑張ったし、学力も上がってきた。だから、今の学力のままで流したい。。これ以上しんどい努力はしたくないし、このままの状態をキープしたいと考えているのかもしれないね。（村山も、「頑張ったね」って言ってあげたいんだけど戦い＝受験はまだ終わっていないんだ）だから言わせてもらいます。「**現状維持を選んだ瞬間、君の成績が下がるのは決定なんだ**」

君は、流そうとする＝努力しない。一方、君の少し下にいるライバルが、向上心を持って、「一步前に」進む努力を行っていると、君は抜かれることになります。現状維持を希望する心は、衰退（下がること）なのです。（『今のままでいい』という心を封印し）なりたいたい自分、叶えたい未来を決めよう。決められない、決まらないのであれば、だから「動かない」ではなく、「そのために、今動く」人間になろう。

1年以上先の大目標を決めよう。そして、半年、数か月で成しとげ的中目標を決めよう。最後に日々少しずつクリアできる小目標を決めよう。

## 「散歩のついでに富士山に登った人はいない」＝更なる目標を決める

- ・大目標は、大きな（親や他人がきいたら）笑われるような夢を書いてみよう  
コツは、自分で勝手に決めている限界や小さな枠をこえる事です。「神様が、何か一つ願い事を叶えてくれるとしたら、何を願います？」ぐらい大きな夢です。（ちなみに村山は世界一周し先生になって、その後、社長になることでした＝5感動目標達成シートに書くと夢が叶います）
- ・中目標は、そのために、「今、君がしなければならない学校でのこと、学志館ですべきこと」を決めます。  
「塾のテキストを半年後までに仕上げる」など数か月から、半年程度で達成できる目標を決めましょう。
- ・小目標は、そのために日々頑張る学習を決めましょう。  
「一問特訓を1日に1回やる」や「1日1ページ」でもかまいません。毎日の小さな努力を意識して、その達成を目指しましょう。「できなかった。。。」という日があったとしたら、学志館がお休みの月曜日にまとめてできませんか？予定通りきっちりやることも大切ですが、それが無理だったから「や～めた」ではなく、そこからできる改善を意識しましょう。できない事を責めないこと。今からできることに意識を向けることです。

## 「今のままで良い」という姿勢だとダメ

学年：

生徒名：